

浜の若衆が継承する出羽三山信仰

き さ ら づ し な か じ ま ぼ ん で ん た て
木更津市中島の梵天立て



毎年1月7日頃の未明に、金田・中島区の若者達が厳寒の海中に梵天を立てる行事です。海岸では行人達が般若心経を唱え、五穀豊穰・浜大漁などを祈禱します。この年に初めて若者の仲間入りをした男子が中心となる一種の成人儀礼です。江戸時代の元禄年間にふりかかった災難を、出羽三山行人の祈禱によるご利益で解決できたことに始まると伝えられています。今でも出羽三山信仰が強く残る千葉県内にあって、その具体的な姿を残す民俗行事です。

国記録選択文化財：民俗文化財（無形民俗文化財）

選択年月日：平成4年2月25日

所在地：木更津市中島

保存団体等：中島区文化財保存会ほか

公開・非公開の別：公開（例祭時）

※「記録選択制度」は、文化庁長官が重要無形文化財以外の無形文化財のうち特に必要のあるものを選択して、自らその記録を作成・保存・公開することができるものとした制度です。

従って、国宝・重要文化財・都道府県指定文化財・区市町村指定文化財とは区別しています。